



スカウト活動への期待

日本ボーイスカウト秋田県連盟 参与
(秋田県教育庁生涯学習課 課長)
中山 恭幸

日頃より、青少年の健全な育成のため、熱意をもってスカウト活動に取り組んでいる皆様方に深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、石川県珠洲市で8月に開催された第17回日本スカウトジャンボリーでは、本県から30名のスカウトが参加されたと伺っています。参加された皆さんは、自然体験活動の中で、十分に身体を動かしたり、たくさんの仲間と関わったり、自然と直接ふれあったりする機会を得ることができたものと思います。また、全国の仲間と出会い、活動を共にした経験は、今後の人生において忘れられない思い出になると思います。この貴重な経験を糧に、各団のリーダーとして、時代の求めに応じた活動にも果敢に挑戦し、新しいボーイスカウトの姿を示していただくことを期待し

ています。

最近の報道にもあるように、ソーシャルネットワークサービスあるいは情報通信技術等が著しく発展し、スマートフォン等の通信機器は青少年にとってごく身近なものとなっています。これにより、知識や情報の取得が容易にできるようになった一方で、人間関係の希薄化等が懸念されています。こうした状況にあるからこそ、自然や人間とたくさんふれ合う体験活動を通して、普段の生活を見つめ直したり、課題解決に向けて自己や他者と向き合ったりすることがより一層求められています。このように考えますと、青少年の豊かな人間性や社会で生き抜く力を育むことができるスカウト活動は、現代社会においてとても重要な活動と考えます。

ボーイスカウト秋田県連盟では、来る日本連盟創立100周年に向け、リバイバルアクションプランが実行されていますが、スカウト活動は「自然体験活動」や「ボランティア活動」等の機会を青少年に対して十分に提供できるものと認識しており、引き続き団支援と組織の充実に当たっていただきたいと思います。関係者の皆様には、子どもたちの健やかな成長と、地域ぐるみで子どもを育む体制の充実のため、引き続き御支援と御協力をお願いします。

第17回 日本スカウトジャンボリー

出発式にあたって

日本ボーイスカウト秋田県連盟
副連盟長 沢屋 隆世

日本ボーイスカウト秋田県連盟全スカウトを代表して、
第17回日本ジャンボリーに派遣される皆さん。

日本ジャンボリーは4年に1回の日本中のスカウトや世界のスカウト 13000 人が参加する 7 日間のキャンプです。これまでの活動で身につけたスキル、勇気、そしてチャレンジを忘れず 精一杯楽しんで来てください。そして、知・徳・体のバランスのとれた本県の次代を担うリーダーとして、さらなる成長を期待しています。

平成30年8月3日



※

17NSJ に参加して

派遣団長 田村 広美

8月25日コンテナが届き、昼過ぎに一人遅れて荷物を取りに行った。午前の荷下ろしから手伝っていたスカウトが数人残っていた。ジャンボリー以来2週間ぶりだ。

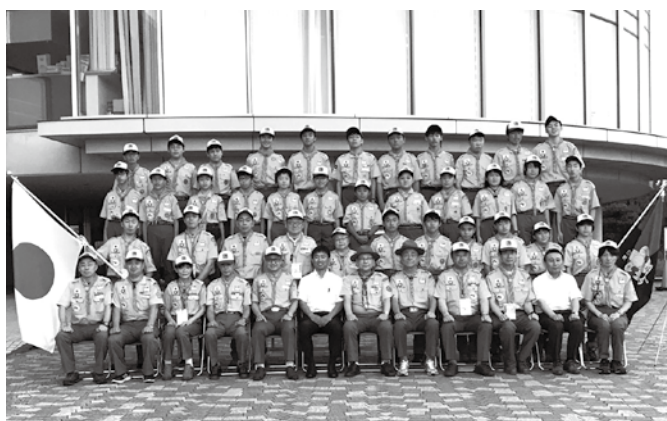
「田村さん、こんにちは。」「おう、ジャンボリーどうだった?」「楽しかった!」「大変だったけど、面白かった!」「家の人にいろいろ話して聞かせた?」「うん、めっちゃ話しました。」「次は東京だって。どうする?」「行くー!!」「絶対行きます。」声をそろえて叫ぶ。「4年後って、あたしローバーですよ。すると奉仕隊?」「あー班長はローバーですよ。今回の鈴木副長みたいに。よし水鉄砲もって行っていっぱいかけなくちゃ。」早くも楽しそうだ。

17NSJ 派遣団長兼北海道東北ブロックサブキャンプの救護班として参加しました。救護テントの中が41℃になる日々、他県のスカウトが次々と体調不良を訴えてやってくる中、秋田隊のスカウトは全員元気に活動していました。一重に派遣隊長をはじめとするリーダー陣の努力と派遣団スタッフのサポートの結果だと思っています。おかげで秋田隊のスカウトはとても楽しい時間を過ごしてきました。

それぞれ日程をやりくりして奉仕してくれたスタッフの皆様、また今回は参加できなかった皆様も含めた有形無形のサポートがあつて、初めて生まれた時間だったと感じています。本当にありがとうございました。

「東京。田村さんも行くんでしょ。」「えー、俺? 4年後はすっかりジジイだからなあ。」「全然大丈夫。行きましょうよ。楽しいですよ。」

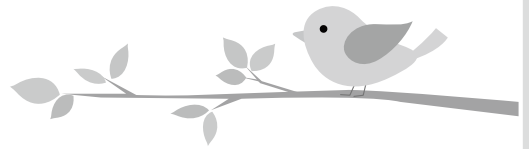
(まあ、確かに楽しかったけどね・・・4年後は何歳だ??)



※印がついた写真は52団寺邑君、倉田君、両君のプロジェクトにて撮影

この夏、珠洲にて

下山 良子（派遣隊副長）



3回の準備訓練を経て、BS 21名、VS 8名、指導者7名で構成された17NSJ 秋田派遣隊は、1日遅れて会場入りする田村派遣団長に「俺が行くまでケガするなよ」と喝を入れられ、留守番組の指導者や保護者の皆様に見送られ珠洲に向かった。ぎゅうぎゅう詰めの中泊は快適なものではなかったの言うまでもない。

珠洲には早朝に到着したが、出迎えてくれたのは酷暑。会場には待ち時間も無くスムーズに入ることができ、バスを降りサイトについた時にはすでに汗だくだった。秋田に割り当てられたサイトは、私が参加した今までのジャンボリーとは比較にならないほどの絶好のシチュエーションだった。快適なキャンプ生活が送られること間違いなし…のはず。

17NSJは、今までとは違い、ゆとりあるプログラム設定のように感じたが、能登特有の気候なのか、暑さと湿気により体力の消耗は尋常ではなかった。あちらこちらで熱中症が多発し、大会4日目には外出禁止令まで発令されたほどだったが、秋田のスカウトたちは皆元気にジャンボリーを楽しんでくれていたことは何よりだ。派遣団長が到着する前にナタで手を切り3針縫合したスカウト、軽度のやけどで笑いながら救護所に駆け込むスカウト、鼻出血を自分で処置し平気な顔をしているスカウト、暑さと汗でアトピーの症状が悪化したスカウトなどがいたものの、いずれも大事には至らず幸いであった。

この夏、一番暑い時期を珠洲で過ごし、真っ黒に日焼けしたスカウトたちは、ひと回りもふた回りも成長して帰ってきたに違いない。能登のチカラ未来へつなげよう！先日、自団のボーイ隊キャンプに同行された保護者様が「ジャンボリーから帰ってきたら、すごく変わりました。あんなことも出来るようになっていたんですね。」と話してくださり、頼もしそうにスカウトを見つめていた姿が印象的だった。

最後に、17NSJ 派遣にあたり、多くのご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



※

2回目のジャンボリー

鈴木 隆大（SHQ本部スタッフ）



私は、今回の17NSJで秋田県連盟から参加申込をして、北海道・東北ブロックの「ブレバリー」サイトのサブキャンプ本部スタッフとして参加しました。

18歳以上のスカウト・指導者がジャンボリーに参加する方法は、参加隊の指導者と運営スタッフの2つがありますが、私は、ブロック全体の様子を観察したいと思い、運営スタッフとして参加することを選択しました。

参加隊と同じ8月4日に現地入りをしましたが、会場である石川県珠洲市はかなり暑く、太陽が照りつける中で設営をしました。大会中は、暑さの厳しい日が多く、雨はほとんど降っていませんでした。

大会では、サブキャンプ本部スタッフの中でも、庶務班に配属され、資料配布や全体の連絡係、トイレ掃除などを担当していました。大会中は、連絡や薪の確保などで本部とサブキャンプの間で調整が必要な場面が出てきましたが、北海道・東北ブロックのサブキャンプでは、大きなトラブルもなく、7日間を過ごすことができました。

私にとって、このジャンボリーは、16NJのときに派遣隊のスカウトとして参加して以来、2回目のジャンボリーでした。

スタッフとして参加をしてみて、普段の活動では会う機会の少ない他県連盟の指導者の方と連携を図りながら、スカウトが過ごしやすいキャンプ生活を実現するにはどうしたらよいかを考えるきっかけとなり、私にとって、とても充実した大会となりました。

次ページへ続く▶



※

ジャンボリーは毎回フィールドやコンセプトが違い、とても楽しい大会なので、スカウトのみなさんには、機会があれば今後の大会にも参加してほしいと思います。

スタッフとして参加をすると、参加者とは違った角度で大会をみることができたり、大会をよりよくしていくためにはこうしていこうという想いができたりして、新たな発見ができるので、スタッフとしての参加も検討してみてください。

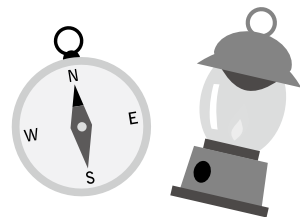
20代までスカウティングをしていると、それまでに会ったスカウトにふとしたときに会って懐かしさを感じたり、思い出を振り返ったりすることもでき、スカウティングにより深みが増すと思います。

スカウトのみなさんには、このジャンボリーをきっかけに今後も活動を頑張してほしいと思うと同時に、私も精進して参りたいと思います。

17NSJに参加された指導者、スカウトのみなさま、おつかれさまでした。

日本ジャンボリー～かけがえのない思い出～

秋田第6団 ボーイ隊 篠岡 和



僕は、日本ジャンボリーに参加して、絆を深め協力する大切さを感じることができました。

一番印象的だったことは、班でハイキングに行ったことです。班のみんなで道を見つけて、目的地にたどりつくことができました。また、少しより道をしたり、はなしながら歩いたりしていくうちに、班の絆が深まっていったと感じました。みんなで、とても楽しめました。

さらに、日々の生活の中でより過ごしやすい工夫はないか考え、実行していました。ジャンボリーでは、今までにないような苦労がたくさんありました。しかし、班や派遣隊のみんながいてくれたので、苦労以上の楽しさを感じることができました。今回のジャンボリーは、僕たちにたくさんの成長とかけがえのない思い出をあたえてくれました。

また、四年後も行きたい！

秋田第31団 ボーイ隊 中井 楓

私は日本スカウトジャンボリーに初めて参加しました。第17回大会の申し込みをした時、実は全く行く気になれませんでした。が、隊長達に勧められて仕方なく参加しました。

しかし、参加して3、4日目くらいには、家に帰りたくなるくらい楽しく、居心地が良くなりました。全部が楽しかったのですが、その中でも印象に残っているのが「友情ゲーム」です。友情ゲームは、各サブキャプテンからスタートし、指定された文字を持つ仲間を探すゲームです。たくさんの都道府県の人達と交流し、友情を深めることができました。

また、四年後も行きたい、そう思うくらい特別な1週間でした。

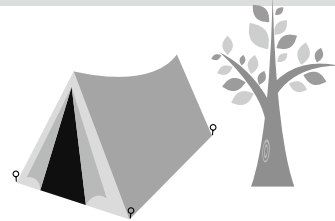
おまけですが、ジャンボリーで特に仲が良かった同じ団の女の子に、その子の地元、大曲の花火大会に誘われ、一緒に観に行くこともできました。



※

春夏秋冬班

秋田第49団 ボーイ隊 叶内 歩見（班長）



17NSJに参加して、私は初めての経験をたくさんし、たくさんのことを学びました。一番の難題は班長を任されたことです。班員によって出来ることや考えていることが違う中で班をまとめることに苦労し、自分の力不足を感じることもありました。そんな不安な時、班員はいつも支えてくれたので、温かい班だなと思いました。

たくさんの思い出の中のいくつかを紹介すると、私たちの班は場外プログラムで輪島へ行き、能登の祭りで奉燈されるキリコを担ぎました。大きいうえに重くて長いためバランスを取るのが難しかったです。大きいキリコはビルの4階建ての大きさなんだそうです。

秋田派遣隊の私たちは他県との交流も多くありました。交流会を通し、たくさんの友達が出来ました。さらに衝撃的だったのが、東京の文5隊の人に貰った稲庭うどん。ラー油がたくさん入っていて、とても辛かったです。

一週間、秋田のサイトにはいつも笑顔が溢れていました。辛いこともあったけれど、最高の仲間や忘れられない思い出が出来ました。



※

「17NSJに参加して」

秋田第52団 ボーイ隊 小松 葉

17NSJでは、初めての人とたくさん交流出来ました。ここでは、僕がこのジャンボリーで印象に残った三つのことを書きたいと思います。

一つ目は、全スカウトが集まって行われた開会式、ジャンボリー大集会、閉会式といった三つの会です。ここでは、いろいろな人が登場しました出し物が行われて、どれもがとても盛り上がる場面で、一番楽しかった思い出です。

二つ目は、モジュールプログラムです。このプログラムを通して、班のみんなが協力して一致団結出来たのが良かったです。特に町を歩き回って、指定された場所をたどるオリエンタリングでは、町の人がとても優しく面白い道を教えてくれたので、知らない土地をドキドキしながらみんなで辿ったのが、いい経験になりました。

三つ目は、他県の人との活発な交流活動です。通りすがりでの挨拶から交流につながるなど、たくさんの人と交流する中で、積極的に話しかけてくれる人やそうでない人、いろいろな性格や考えの人など、いろいろな人がいるのがとにかく面白いと思いました。

このジャンボリーに参加して、みんながまず自分に自信を持てるようになったと思うし、この交流を通して未来の平和に貢献出来たらいいなと思いました。

事務局からのお知らせ

17NSJ派遣で作成しました派遣団グッズに多少在庫がございます。
皆様ぜひお買い求めください。税込価格です。

- Tシャツ………LL×3、L×5枚、
ジュニア用(150)×1枚(単価2,000円)
- キャップ………8個(単価1,000円)
- チーフリング…50個(単価1,000円)
- ネッカチーフ…4枚(単価1,000円)
- リストバンド…60個(単価1,000円)



ecoで快適な環境を実現
 太陽光発電・LED照明・内外装リフォーム・空調メンテナンス
 あきた安心リフォーム協会会員・(社)あきた太陽光発電協会会員

JASNA株式会社 ジャスナ
 代表取締役 安宅 信之
 〒010-0953 秋田県秋田市山王中園町 10-2
 Tel.018-874-7457・Fax.018-874-7458

日本の心を奏でる

尺八教室
 指導：三浦龍畝
 (弘前大学非常勤講師)

総社社内 (秋田市川尻総社町 14-6)
 連絡先 TEL 080(5224)3282

ボールペンから事務機まで

有限会社 金園

本社／秋田市山王五丁目12-21 TEL862-5371代 FAX864-4624
 大町店／秋田市大町三丁目4-45 TEL863-9009

salesforce認定上級アドバイザー

株式会社 エイチ・アイ・ティ
 〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル7F
 代表取締役 川合 俊昭
 TEL 018-895-5515 FAX 018-895-5516 ● URL <http://www.a-hit.co.jp>
 ソフトウェア・ディベロップメント●遠隔地無線LANシステム設計・構築

株式会社 くまがい印刷

〒010-0001 秋田市中通六丁目 4-21
 TEL: 018-833-2220 FAX: 018-833-6732

「創業明治31年・技術と信用」
 塗装工事 外壁塗替 屋根塗替

長谷川塗物店
 秋田市大町一丁目 4-12
 Tel 018-862-2097

住み慣れた地域社会で家族とともに

在宅介護
やさしい手 秋田
 介護のご相談、お気軽にお問合せください
0120-834-302

創祀 神亀元年(724)～1292年
 日本の心を永遠に!

神総社
 〒010-0946 秋田市川尻総社町 14-6 電話 018-863-0930
 URL:<http://sosha-j.jp> FAX 018-863-2793

羽毛ふとんリフォーム
 ぐっすり睡眠 圧去枕 あっさりまくら

広島ふとん国道店
 秋田市川元むつみ町6-14
018-862-7446

快適な暮らしをあなたに

(株)藤工業サービス
 代表取締役 藤原 隆
 〒010-1606 秋田市新屋寿町1-5
 ☎(824)1631 FAX(824)1677

地域とともに

秋田銀行
<http://www.akita-bank.co.jp/>
 秋田市山王三丁目2番1号 TEL:018-863-1212(代表)

置いて安心 使って便利な常備薬

秋田スパーク薬品株式会社
 代表取締役 吉村 昌之
 本社 秋田市川尻みよし町7番7号
 TEL 018(862)2505
 FAX 018(862)2206
 天王営業所 TEL 018(878)4661

住んでからも満足

吉兆 HOME
 〒010-0916 秋田市泉北4丁目3番28号
株式会社 吉兆ホーム
<http://www.kicchohome.com>
 Tel.018-866-9280 Fax.018-866-9316

Advertising & Design

KEA
 総合広告代理店
有限会社アイキアプランニング
 〒010-0953 秋田県秋田市山王中園町 10-2
 TEL: 018-883-1355 FAX: 018-824-6262
<http://www.ikea-planning.com>

<http://www.kanehiko.co.jp/>

未来のビジネスシーンへ

株式会社 カネヒコ
 〒010-0966 秋田県秋田市高陽青柳町17-64
 TEL 018-823-8317 FAX 018-864-6353

家づくり、夢づくり、
 人生物語のパートナー

株式会社 丸臣高久建設
 〒012-0823 秋田県湯沢市湯の原2-2-51
 Tel: 0183-73-2889 Fax: 0183-72-0185
 URL: www.ie-monogatari.jp

手作り工房

松田建装
 有限会社
 秋田市仁井田本町6丁目2-16
TEL 018-839-1178

空瓶洗浄
 合資会社 **大洋空容器**
 工場長 原 貴彦

〒010-1427秋田市仁井田字新中島1163-4
 電話 (018)839-2308

秋田県知事許可(般-27)第12300号
 厚物精密板金全般

(株)中嶋精密製作所
 代表取締役 中嶋 貞明
 〒014-0801 大仙市戸地谷字川前 285-1 TEL0187-62-1098
 FAX0187-62-0098

N (株)サービス・なかじま
 代表取締役 中嶋 小百合
 〒014-0801 大仙市戸地谷字川前 285-1 TEL0187-63-1098

～山王のご宴会はお任せをください～
 席数80の広々店内でカラオケお食事

パブレストラン **サガン**
 代表 田崎 宏明
 TEL 018-865-0956
 秋田市山王1丁目12-7
<http://www.pubsagan.jp>

秋田大学発ベンチャー 合同会社 トライガルフ

さけ・ます養殖の設備更新の際は水槽の半自動清掃機や残餌排出などご相談下さい。
 その他、一般家屋用の屋根雪降し装置、省エネ鍋など続々製品開発しております。

〒987-0611 宮城県登米市中田町浅水字中川面 22-2 ☎090-7564-5103 trigulf@xpost.plala.or.jp



見えない危険 隠れたムダを見つけます!



(有)保安秋田電氣管理センター

代表取締役 熊谷 琢次 保安部長 熊谷 直樹
〒010-0946 秋田市川尻総社町10-8 BF TEL018(863)4230岩渕内科胃腸科
クリニック

院長 岩渕 朗

秋田市保戸野中町 7-16

TEL.018-896-7270

安倍歯科医院

院長 小林 崇之

秋田市中通 3-3-28

TEL.018-874-8390

TAKU
歯科クリニック

院長 佐藤 拓

秋田市寺内字三千刈 325-3

TEL.018-867-8255

田中歯科医院

院長 田中 寛

秋田市寺内油田 3-16-34

TEL.018-857-1133



北秋田営業所 所長代理 杉渕 勝利

北秋田営業所 〒018-3301 北秋田市綴子字大堤道下 95-2

TEL/0186-63-1451 FAX/0186-63-0130

本社秋田・横手・由利本荘・大館・北秋田・能代
k-sugibuchi@tapros.co.jp http://www.tapros.co.jp

携帯電話 090-3649-9967

清水歯科クリニック

院長 清水 真木雄

秋田市保戸野千代田町 2-41

TEL.018-869-3443

おおすみ歯科医院

院長 佐々木 嘉一

秋田市大住 3-3-53

TEL.018-836-5222

いしかわ歯科・矯正歯科

秋田市広面字野添 181

TEL.018-887-3988

医療法人 千成会
★★★歯科・小児歯科・口腔外科★★★

旭北歯科医院

院長 千葉 利昭

歯科医師 武田春輔、田尻太郎、赤川玄次

秋田市旭北栄町 1-4 TEL018 (865)2931

広幡歯科医院

院長 工藤 充康

秋田市河辺和田字上中野 126-1

TEL.018-882-2030

三浦歯科クリニック

院長 三浦 吉貴

秋田市仁井田本町 5-1-25

TEL.018-839-8219

こまはし歯科医院

院長 駒橋 純

秋田市山王 2 丁目 6-1

TEL.018-862-7047

平塚歯科医院

院長 平塚 新

秋田市御所野元町 2-12-1

TEL.018-862-1888

あんどろ
矯正歯科クリニック

院長 安藤 葉介

秋田市東通 4-4-18

TEL.018-837-6480

堀川歯科クリニック

院長 堀川 信行

秋田市新屋豊町 7-29

TEL.018-867-0020

いしばし歯科医院

院長 石橋 征嗣

秋田市御所野元町 5-12-3

TEL.018-829-4618

すずの木歯科クリニック

院長 鈴木 克典

秋田市八橋大畑 2 丁目 2-8

TEL.018-865-8211

たむら船越クリニック

〒010-0341 秋田県男鹿市船越字内子224-9

TEL.0185-22-6789 FAX.0185-22-6788

<http://www.aobakai.jp/>

院長 田村 広美



キム

イギリスの文豪 ラジャード・キップリングの書いた物語。

キップリングは、この本で 1907 年にノーベル文学賞を受賞している。

キム (Kimball O' Hara) は、インドに駐留していたアイルランド連隊軍曹の息子で、彼が小さいときに父母に死に別れ、叔母の世話になっていた。遊び仲間がみんな土地の少年だったので、かれはインドの言葉を覚え、その地方の風習習慣をよく知ることになった。彼は冒険好きであった。しばらくして、キムは政府の情報部員で宝石商のラーガンという人と知り合った。ラーガンは、キムが風俗習慣をよく知っており、機敏なのに目をつけ、役に立つ情報部員にできると考えた。ラーガンは、キムにいろいろな宝石を 1 分間見せて、布をおおい、どのような宝石が何個あったかをテストした。何回かの訓練の後、キムは大切な注意力と記憶力の技能を身につけた。

このキムの話から、ボーイスカウトの訓練で行う「キムス・ゲーム」のアイデアが生まれた。キムは、その後、いろいろな訓練を受け、立派な情報部員となり、あるときは「こじき」に変装したりして大きな手柄をたてた。

【マリオ・シカ 編「創始者の足跡」～訳者 於 保 信 義 (おほ のぶよし)】
(京都連盟 指導者研修資料「たどってみよう B-P の足跡」)

今後の予定

10月 7日	ODS 外旭川前谷地公園
10月 14日	防災キャラバン (大仙市)
10月 21日	ATRF (太平山オーパス)
10月 27日	防災キャラバン (能代市)
11月 3日～4日	第2回全国県連盟コミッショナー会議
11月 4日	第2回 BS 講習会
11月 10日	全国組織拡充担当委員長会合
11月 10日～11日	ブロック総会 (岩手県)

11月 17日～18日	全国事務局長会議
12月 8日	全国ディレクター研究集会
12月 9日	第3回理事会
1月 6日	新春のつどい
1月 19日～20日	第3回全国県連盟コミッショナー会議
1月 26日	全国県連盟代表者会議 日本連盟新年賀詞交歓会
2月 3日	第4回理事会
2月 9日～10日	トレーナー研究集会
3月 3日	第3回 BS 講習会

編集後記



★巻頭言を、秋田県連盟参与である中山恭幸 県教育庁生涯学習課 課長から、『スカウト活動への期待』と題してご寄稿いただきました。ありがとうございます。

★スカウト秋田第130号は、17NSJ 秋田県連盟派遣団に対する壮行会での沢屋隆世副連盟長の激励文に始まる第17回日本スカウトジャンボリー特集です。

★17NSJ に県連派遣団長として参加した田村広美理事からご寄稿いただきました。SHQ 救護班としてもご活躍いただきました。ありがとうございました。

★派遣隊副長として参加した下山良子県連ディレクターから『この夏、珠洲にて』と題してご寄稿いただきました。派遣隊スカウトの指導ありがとうございました。

★SHQ 本部スタッフとして参加した鈴木隆大 BS 副長から『2回目のジャンボリー』と題してご寄稿いただきました。スタッフとしての奉仕は、参加スカウトたちの模範となったのではないかと思います。

★参加スカウトを代表して、第6団篠岡和スカウトから『日本ジャンボリー～かけがえのない思い出』、第31団中井楓スカウトから『また、四年後も行きたい!』、第49団叶内歩見スカウトから『春夏秋冬班 班長』、第52団小松葉スカウトから『17NSJに参加して』と題した感想文をいただきました。17NSJの貴重な経験をこれからのボーイスカウト活動に活かしていただきたいと思います。

(S . S)